



連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る — 二十四学会からの発信 —

第七回 大震災を契機に国土づくりを考える

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年八月八日（水）午後二時から午後五時四十五分 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）  
（東京メトロ千代田線乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

- 司会 依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）
- 挨拶 和田章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14：10-16：15

第一部 基調講演

- 日下部治（日本学術会議連携会員、茨城工業高等専門学校校長、前地盤工学会長）
- 鈴木雅一（日本学術会議連携会員、東京大学大学院教授、砂防学会長）
- 落合博貴（（独）森林総合研究所 国土保全・水資源研究担当、研究コーディネータ）
- 丸山久一（長岡技術科学大学教授、日本コンクリート工学会副会長）
- 岡田知弘（日本学術会議連携会員、京都大学大学院教授、日本地域経済学会長）

16：25-17：45

第二部 パネルディスカッション

- コーディネータ 目黒公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
- パネリスト 基調講演者5名により行う

連続シンポジウム（予告）

平成24年11月 総括フォーラム開催予定

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no7.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

問い合わせ先：東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

- 環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本集団災害医学学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）

